

令和5年度 第1学期始業式式辞

先ず始めに、先ほど本校高等学校への入学を許可した高校1年生154名の皆さん、入学おめでとう。小・中学校の9年間の「義務教育」を終え、今日から高校生です。これまでとは出席日数や考査成績の重要度など、大きく異なることになります。自ら学ぶ姿勢を大切に、意欲的で充実した高校生活を送ってください。

さて、今年の桜の開花が早く、その盛りを過ぎた感があります。この時期は、生徒の皆さんも先生方も、「行く人、来る人」が交錯し、何となく落ち着かないなかではありますが、新しい年度が始まりました。それぞれ学年が進み、決意も新たに今日を迎えたことでしょう。

君たちにはそれぞれ学びたいこと、身につけたいこと、実現させたいことがあるはずで、それらを必ず達成するんだ、そして、新たな自分を発見するんだという強い意志をもって、今年度の学校生活に臨んでくれることを期待しています。

先日、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が侍ジャパンの優勝で幕を閉じました。侍ジャパンが優勝を手にした要因、その強さは何であったのか・・・など、様々に解説されています。

多くの選手からは「こんなに野球が楽しいとは」と話していたことが印象的でした。もちろん、優勝できたからこそ楽しかったのだとは思いますが、今回の代表チームは、大会に挑む前から「気負わず、野球を楽しむ」ことを皆で確認し合っていたようです。彼等の「野球を楽しむ」ということは「失敗を恐れず、トライする」ことを意味していました。

そのことは、準々決勝イタリア戦の前に栗山監督が「『出来るか出来ないか』ではなくて、夢に向かって『やるかやらないか』を見せたい。そこに侍ジャパンとしての意味がある。だから世界一を目指す。」と力強く語られていました。

君たちはそうではないと思いますが、与えられた課題に対して出来ない理由ばかりをさがす人がいます。そうした人の特徴として、自信がなかったり、プライドが高く失敗することを恐れたり、質問することを嫌ったり、そもそもモチベーションが低かったり・・・と、分析されます。

君たちには、日々の学習活動も、部活動も、受験勉強においても、「出来るか出来ないか」ではなく、夢に向かって「やる」姿を示して欲しい。

実は奈良学園中学高等学校にも嬉しい知らせが届きました。

本校は、平成24年（2012）度からSSH校（スーパーサイエンスハイスクール）

として、次代の科学技術分野を牽引する人材育成に取り組んできました。この度、あらためて令和5年4月から令和10年3月までの5年間、SSH Ⅲ期の指定を文部科学省から受けることが出来ました。

指定を受けたことで、君たちに幅広い活動や経験、多様な学び機会を提供することが出来ます。奈良学園中学校では質の高い課題研究Jに取り組むとともに、高校においては論理的思考力に基づき、ものごとを多面的に捉え、持続可能な社会の実現に向けて有益な人材を育てるという期待の込められた指定であります。その期待に応えるのは、君たち一人一人であり、すべての先生方も含めたオール奈良学園に大きな責任が託されています。

これまで先輩達がSSHとして取り組んできた成果や実績を踏まえ、君たち自身の将来につなげる質の高い学びを展開して欲しいと思っています。

「将来につなぐ」とは、例えば、

- ・ 学びを通して将来学びたい方向や社会に貢献する道を見つける
- ・ 自分自身の考えを深め、学びの幅を広げることで豊かな感性や探究心を養う
- ・ 学校以外の人との交流を通して多様な価値観を知り、協働する態度を養う
- ・ 高校での課題研究の成果をもとに難関大学の推薦入試を受験し合格することなどです。

SSH Ⅲ期の指定を機に、君たちと共に新たな奈良学園の歴史を創っていきたい。

最後に、新型コロナウイルス感染症の今後の対策について話をします。

感染対策としては、これまでどおり、三密（密閉・密集・密接）を避け、人と人のとの距離の確保、手洗いの励行、換気等の対策を徹底することには変わりはありません。そのような対策を行ったうえで、

- ・ 学校でのマスク着用は君たち自身（家族）の考えに任し、自由とする
- ・ 登下校の混雑する電車・バスにおいては、極力マスク着用をお願いする
 - * 自分を守る、家族を守る、友達を守る、人に迷惑をかけない（無症状かもしれない）という視点からも重要
- ・ 各授業においては、可能な限り二方向の窓を開けて常時換気を行い、グループワーク等については、少人数で実施し、大声の会話は控える
 - * 教科によっては、学習活動によって対策は異なるので、教科の先生の指示に従う
- ・ 昼食時は、自席で前を向いて食事を摂り、飛沫ガードの設置は自由とする
 - 食堂の使用法は座席を減らし、飛沫ガードを設置する
 - * 食事中は自分が食べ終わったからといって、食事をしている人のそばでしゃべらない
- ・ 生徒の健康チェックについては、これまでどおり実施する（方法は学年で）

その他、細かなことは担任の先生等に確認してください。

今、話したように、学校でのマスク着用は自由となります。これまで3年以上にわたりマスク着用が求められ、やっとはずすことが可能になりました。開放感一杯の人もいるでしょう。

その一方で、マスクをはずすことに不安を感じている人もいます。今もなお、いわゆるコロナ後遺症に悩んでいる人もいます。また、感染すれば重症化しやすい高齢のおじいさん、おばあさん、基礎疾患をお持ちのご家族と同居している人もいるでしょう。

様々な事情や不安を抱えた人が自分の周りにいることを理解し、マスク着用の有無をもって、偏見やからかい等がないよう、互いを尊重しながら生活していきましょう。

今年度のスタートに当たり、君たち自身が社会に生きる良識ある一人の人間として振る舞い、そして、夢に向かってトライする姿に期待しています。

以上